



村小だより

平成29年9月13日発行

大運動会迫る！ 伝えたい 村小っ子の本気を！

校長 鈴木 正美

大運動会(16日土曜日)が迫ってきました。学校は今、気運が最高潮になっています。当日は、どんなドラマがくり広げられるのか。私も大人げなく、「わくわく、ドキドキ」してきましたが、子どもたち264名が思いっきり活動できる運動会日和になることを切に願っているところです。是非、皆様の念力もお貸しください。

今年のスローガンは、「全力で 赤白優勝つかみとれ！」です。子どもたちが決めたこのスローガンの下、体育の時間や休み時間等を使って、競技、演技での動き方等の練習や応援練習等を行ってきました。この間、ご家庭での支えや励ましのおかげもあり、子どもたちの意欲も徐々に高まっていることが、全体練習等での態度や言動から強く感じられるようになってりました。感謝申し上げます。

走るのが得意な子もそうでない子も、自分の持ち味を生かし、本気になって競技、演技や応援、係の仕事等に取り組む姿を私たちは期待しています。その中で、「自分はがんばったぞ。仲間と協力して精一杯取り組んだぞ。」という成就感、達成感を十分味わってほしいと願っています。そして、ご家族同様、私たちもその様子をとらえ、心から称えたいと思っています。

当日は、多くの皆様からご来校いただき、村小っ子の「本気」を肌で感じていただけたら幸いです。お待ちしております。

< 2学期始業式の講話から >

2学期のスタートにあたり、特に9月の過ごし方について、三つお話します。(概略)
一つ目は、早く学校生活のリズムを取り戻して、時間を守って活動しましょう。

二つ目は、大運動会に向けて、一生懸命練習に取り組んで、それぞれ成長した姿を感じ取ってもらいましょう。

三つ目は、運動会の練習は練習で一生懸命に、勉強は勉強で落ち着いて取り組みましょう。みんなの先輩も村小っ子は昔から、この時期は特にがんばってきたのです。

併せて、みなさんには2学期も「あいさつ」をがんばってほしいと思っています。「進んであいさつができる人は、人間関係がよくなり、いいことがいっぱい訪れる。」と先生方は経験上、知っています。だから、皆さんには、いいことがいっぱい訪れてほしいので「進んであいさつを」と呼びかけているのです。進んであいさつができる人は、増えてきたと感じます。でも、やればできるのにしていない人もたくさんいます。今の自分のあいさつより、「ほんの少しいい、あいさつ」になるよう変身させてみませんか。

「恥ずかしいから、あいさつができない。」ではなくて、「あいさつができないことが、恥ずかしいことだ。」と思ってやってみませんか。一人一人は「ほんの少し」でも、みんなでやれば大変身になるはずです。